

浜大樹訓練海面等における揚陸訓練実施

浜大樹訓練海面（北海道広尾郡大樹町地先）及び浜大樹訓練場において、7月8日（水）に陸上自衛隊中部方面隊第13旅団（広島県安芸郡海田町）、翌日9日（木）に陸上自衛隊北部方面隊第5旅団（北海道帯広市）が、海上自衛隊エアクッション艇（LCAC）2艇を使用して、浜大樹訓練海面の沖合に停泊している海上自衛隊輸送艦「しもきた」に搭載された74式戦車等の車両や人員を海岸（浜大樹訓練場）まで輸送し、上陸させる揚陸訓練を実施しました。

この揚陸訓練実施の目的は、陸上自衛隊と海上自衛隊との協同連携及び揚陸要領の練度向上に資するものであり、当初、ヘリコプター（CH-47・UH-1）による偵察部隊（オートバイ）及び警戒部隊（軽装甲機動車）の空輸により揚陸地域の偵察・警戒及び安全化を実施した後、LCACが輸送艦と海岸の間を数回往復し、逐次、陸自・海自の隊員が連携して74式戦車等の車両を迅速に海岸に上陸させました。

本訓練の実施にあたり、北部方面総監及び北海道防衛局長がそれぞれ視察しました。



CH-47により空輸される軽装甲機動車



第5飛行隊のUH-1から降りる隊員

- 輸送艦「しもきた」
- ・基準排水量：8,900 t
 - ・全長： 178m
 - ・全幅： 約26m
 - ・速力： 22ノット
 - ・乗員： 約145名
 - ・LCAC×2を装備



LCACと揚陸場所を警戒する隊員

- エアクッション艇（LCAC）
（Landing Crsft Air Cushion）
- ・全長： 約27m
 - ・全幅： 約14m
 - ・速力： 50ノット
 - ・乗員： 約10名
 - ・積載能力： 約50 t、
人員約30名



海上を航行するLCAC



LCACから揚陸する車両



LCACから揚陸する90式戦車



左側:訓練を視察する北部方面総監
右側:北海道防衛局長

※ 協同転地演習:自衛隊の保有する陸上、海上及び航空の各種輸送手段と民間の各種輸送手段を併用し、各方面区を移動することにより長距離機動能力の向上を図るとともに、転地先における訓練を実施し、方面隊の即応性の向上を図ることを目的としている演習

写真提供:第5旅団広報班

第2師団、第7師団が近接戦闘訓練(i-TESC、AC-TESC)を実施

北部方面隊は、第2師団（北海道旭川市）が、6月1日（月）から26日（金）までの間、上富良野演習場において、近接戦闘訓練（i-TESC）を、第7師団（北海道千歳市）が、6月7日（日）から21日（日）までの間、北海道大演習場において、近接戦闘訓練（AC-TESC）をそれぞれ行いました。

第2師団が担任したi-TESCは、戦車、野戦特科、施設科等部隊が攻撃部隊と防御部隊による対抗方式により行い、敵情を解明しつつ大きな戦力をもって攻撃する部隊と地形を活用して構成した陣地と火力と障害を活用し、少ない戦力で防御する部隊との間で行われました。

第7師団が担任したAC-TESCは、機甲師団としての特性を生かし、戦車中隊または機械化中隊を主体として編成した中隊が遭遇戦等の対抗方式により行い、第7師団の全戦車連隊、第11普通科連隊に加え、第2師団の第2戦車連隊と第5旅団の第5戦車大隊が参加し、戦車部隊等特有の機動力を最大限に発揮した流動的な戦闘が、行われました。

i-TESC及びAC-TESCに参加した各部隊は、各隊員・装備の行動を客観的かつ計数的に評価した成果をふまえ、今後の練成訓練等を行う上で貴重な成果・教訓を得ることができました。

※ T E S C（Training（訓練）Evaluation（評価）Support（支援）Center）訓練とは、訓練センターを臨時に設置して、普通科部隊、戦車部隊等の近接戦闘訓練をレーザー交戦装置等により、戦闘結果を審判するとともに、その結果をデータとして、評価分析する等、実戦環境に近似して行う訓練です。

写真提供：北部方面総監部 広報室



航空自衛隊千歳基地航空祭2015 ～約4万3千人が来場～

7月19日（日）、航空自衛隊千歳基地（北海道千歳市）において「千歳基地航空祭」が開催されました。

当日の天気は曇りでしたが、約4万3千人の多くの見学者が来場し、盛況な航空祭になりました。

エプロンや広場では、普段見る機会が少ないB747-400政府専用機、F-15、F-2戦闘機やヘリコプター、米空軍F-16など様々な航空機が展示され、間近で見学できた多くの人たちが熱心に説明を聞いていました。

松島基地（宮城県東松島市）のブルーインパルスによる飛行展示は、天候が不良のため中止となりましたが、北部航空音楽隊による音楽演奏が行われ、来場者は熱心に聞き入っていました。

北海道防衛局次長が実視を行ったほか、北海道防衛局として航空祭の会場内の一角に広報用ブースを設け広報誌「防衛北海道」を配付し、自衛隊への理解と協力を得るための広報活動を実施しました。



第30回防衛問題セミナー

テーマ:いざという時のために ～地域の危機管理と自衛隊の災害派遣～

北海道防衛局は、平成27年6月29日（月）に新ひだか町公民館において「いざという時のために ～地域の危機管理と自衛隊の災害派遣～」をテーマに、新ひだか町の後援を頂き防衛問題セミナーを開催し、112名の方々にご来場いただきました。

冒頭、杉田北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて新ひだか町の本庄副町長から御挨拶を頂きました。

講演は、総務省消防庁国民保護・防災部防災課国民保護運用室の桑畑英紀室長から「国民保護と防災」と題し、国民保護の概要、防災の基礎知識及び災害対応事例紹介、消防と自衛隊の連携等について、陸上自衛隊第7高射特科連隊長兼静内駐屯地司令の神田謙1等陸佐から「自衛隊の災害派遣活動と静内駐屯地の役割」と題し、災害派遣における陸上自衛隊の活動、災害発生時における静内駐屯地の任務及び即動訓練の状況等について、それぞれ説明を行い、来場者は熱心に聴講されていました。

来場者からは、「非常に勉強になった。」、「事態に対する平素からの意識及び対処要領について理解できた。」、「自衛隊の活動状況がよく理解できた。」などの声が寄せられました。

また、会場では、自衛隊の災害派遣活動写真の展示及び災害派遣で着用する個人装備品の展示や体験装着を行いました。来場者は装備品に触れることで自衛隊の災害派遣活動への理解を深めていただけたものと考えております。

当局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動等について、多くの皆様に御理解を深めていただけるよう、今後も各地で防衛セミナーを開催していく予定です。

主催者及び後援者挨拶



北海道防衛局 杉田局長 新ひだか町 本庄副町長

講師



桑畑 室長



神田 司令

セミナー風景



自衛隊の災害派遣活動写真及び装備品の展示状況



防衛施設と周辺地域との調和を図るために

～特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の紹介～

今号では、特定防衛施設周辺整備調整交付金の事業をご紹介します。

特定防衛施設周辺整備調整交付金は、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、ジェット機の離着陸が実施される飛行場や砲撃等が実施される演習場など、その設置又は運用がその周辺地域の生活環境や開発に大きな影響を及ぼすと認められる防衛施設（以下、「特定防衛施設」という。）の周辺地域を管轄する市町村に対して、公共用施設の整備又はその他の生活環境の改善や開発の円滑な実施に寄与する事業に充てるため交付されるものです。

北海道防衛局では、北海道内の特定防衛施設について、その周辺地域を管轄する市町が、交通施設、通信施設、教育文化施設、医療施設等の公共用施設の整備等の事業を実施する場合に当該交付金を交付しています。

本稿では、平成25年度～平成26年度に千歳市がこの交付金を活用して整備した教育文化施設（小中学校デジタル機器整備）と通信施設（情報提供施設）についてご紹介します。

当局では、今後とも交付金事業により、地域住民の方々の生活の安全性や利便性等の向上、教育・文化、医療・福祉、産業の振興等に寄与するよう努めてまいります。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の概要については、特別編集号「防衛北海道（平成26年3月発行）」にも掲載しています。是非ご覧ください。北海道防衛局ホームページ：<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



小中学校デジタル機器の整備



電子黒板を活用した授業模様

事業の概要

千歳市内の全ての小中学校（26校）において、情報通信技術を活用した学習環境を充実させるため、実物投影機、電子黒板等を整備しました。

映像を見ながら学習することで、生徒の授業への関心や学習意欲が向上し、授業の効率化や習熟度の向上に貢献しています。

市の担当者の声：

デジタル機器を活用した視聴覚教育により、教育効果の高い授業が行えるものと考えます。

先生の声：

映像も使用して学習することで子供たちの興味や関心が高まり、以前よりも集中して授業に臨んでいます。

情報提供施設の整備



情報提供施設

事業の概要

千歳市では、市民が安全・安心で快適な生活環境の中で住せるように、市民への防災及び生活に係る情報や町内会や市民自らが開催するイベント情報などを、ホームページや広報誌、携帯端末などにより提供していますが、情報提供の手段を増加させ、より多くの市民へ適切に情報提供を行うため、JR千歳駅前ロータリーにLED電光掲示板を設置しました。

これにより、市民の方々の生活の安全性や利便性等の向上に貢献しています。

市の担当者の声：

これまで、市民への情報提供はホームページ等の媒体に限られていましたが、これらを利用できない市民に対しても、情報提供が可能となったことから、様々な世代の市民に喜ばれるものと考えます。

市民の声：

毎日利用する駅で、防災やイベント等の情報が得られることから、大変便利です。また、画像も大きくとても見やすいです。



海上自衛隊函館基地隊

基地隊司令挨拶



海上自衛隊 函館基地隊司令
1等海佐 おしま よしたか
尾島 義貴

「前向きに明るく」

北海道防衛局広報紙「防衛北海道」をご覧の皆様こんにちは。海上自衛隊函館基地隊司令の尾島です。今回紙面をお借りして函館基地隊の概要及び所在する部隊の活動状況についてお伝えいたします。

基地隊本部の窓からは山側に旧函館区公会堂、函館山ロープウェイ、海側にはベイエリアを見渡すことができ、また基地隊敷地内には明治天皇が上陸されたと伝えられている歴史のある石畳等が現存していることなどもあり、隊員が日常勤務の中で函館の街を実感できる環境にあります。

函館基地隊は北海道に本部を置く部隊ではありますが、大湊地方総監部（青森県むつ市）に所属し、第45掃海隊、松前警備所、青森県の竜飛警備所をもって編成されています。

主な任務は津軽海峡を主とした警戒監視及び北海道近海を行動する艦艇に対する支援ですが、海中における爆発物が発見された際の調査・処分等、海上交通の安全確保なども実施しています。

当基地隊は基地隊主催行事のみならず、各警備所所在地等も含め地域行事への積極的な参加を通じた周辺地域の皆様とのつながりを大切にするとともに、国民の皆様から信頼を得られるよう精強な部隊育成に努めてまいります。



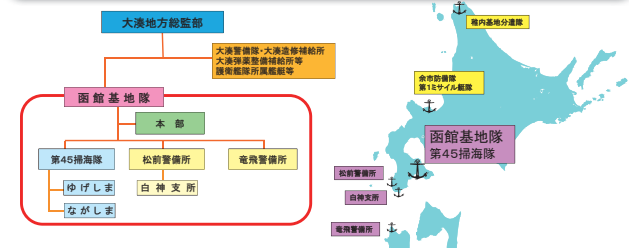
基坂からみた函館基地隊

平成26年11月 鹿部漁港沖で発見された旧日本軍爆弾が12月2日水中爆破されました。



写真提供:函館基地隊 広報

函館基地隊の編制と所在地



基地主催・地域行事



7月 花火大会 基地一般開放



9月 はたらく車大集合 掃海艇一般公開



10月 函館カルチャーナイト 掃海艇一般公開

アメリカ海軍の掃海艦「ウォーリアー」と「パトリオット」は、親善のため函館港に寄港し、7月14日函館市の日米協会の歓迎を受けたあと7月16日青森県の陸奥湾等で海上自衛隊と機雷除去等の共同演習を行うため出港しました。



米掃海艦「ウォーリアー」 米掃海艦「パトリオット」

研修に参加して 「平成27年度事務官等海上研修（硫黄島・父島方面）に参加して」

総務部 契約課係員 渡部事務官（北海道 札幌市出身）

私は平成27年5月30日から6月7日にかけて輸送艦「おおすみ」に乗艦し、艦内及び小笠原諸島での研修に参加してまいりました。5月30日に横須賀港を出港した後、硫黄島に至るまでの間に艦内で海上自衛官の方から手旗信号や縄の結束方法等を指導していただき、輸送艦の艦内を見学する等貴重な体験をさせていただきました。硫黄島では砲台跡や壕といった現存も島内に残る生々しい戦争の跡を見学し、慰霊碑で戦死者の方への慰霊を行いました。父島においては父島基地分遣隊の案内の下、島内を巡回し、戦前から残る建物の跡や現在の島の様子について説明を受けました。そして全ての研修を終えた後、6月7日の早朝に横須賀港へ無事帰還しました。研修中は揺れる艦内での生活に戸惑いと疲労もありましたが、そこで得た貴重な経験と、この研修を通して感じた、現場で任務に就く自衛官の強い責任感と緊張感を私自身も見習い、今後の業務に取り組んでまいりたいと思います。





HAKODATE

市長あいさつ

函館市は北海道の南端部に位置し、北国としては比較的温暖な気候風土を持ち、北海道と本州を結ぶ交通の要衝として、また、先人のたゆまぬ努力のもと、教育・文化や保健・医療・福祉、産業など、高次都市機能が集積する南北海道の中核都市へと発展を遂げてきました。

また、当市は、古くから世界三大夜景の一つとして数えられる函館山からの夜景をはじめ、旧函館区公会堂や教会群の異国情緒漂う歴史的建造物、特別史跡五稜郭跡や北海道唯一の国宝「中空土偶」などの多くの歴史文化遺産を有しているほか、三方を海で囲まれ四季折々の新鮮な海の幸が楽しめるなど、様々な魅力に満ちております。

来年3月には待望の北海道新幹線が開業を迎えることから、開業効果を最大限生かすため、陸・海・空の交通網のさらなる充実を図るとともに、国内外でのプロモーション活動を強化し、観光客をはじめとした交流人口を増やす取り組みを展開し、国内外の人々が行き交い、にぎわう、活気にあふれるまちづくりを進めています。



ワッショイはこだて

写真提供:函館市

～防衛施設が所在する自治体の紹介～

北海道 函館市

北海道函館市

「人が輝き まちが輝く 交流都市 はこだて」

〒041-8666

北海道函館市東雲町4番13号

ホームページアドレス：<http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/>



函館市長 工藤 壽樹



国宝「中空土偶」



五稜郭公園



函館山からの夜景

■ 自衛隊との関わり

陸上自衛隊函館駐屯地は、市の東央部に所在し、道南防衛の要としての役割を果たしております。また、海上自衛隊函館基地隊は、北方の海の最前線を担う基地として、津軽海峡およびその周辺地域の防衛警備に臨んでおります。

特に、陸上自衛隊函館駐屯地の隊員の方々は、戊辰戦争にまつわる箱館五稜郭祭や約2万人が参加する函館港まつりのパレードで踊りに参加されるとともに山車の製作に協力いただいているほか、駐屯地記念行事での一般開放などにより市民との交流も深めています。

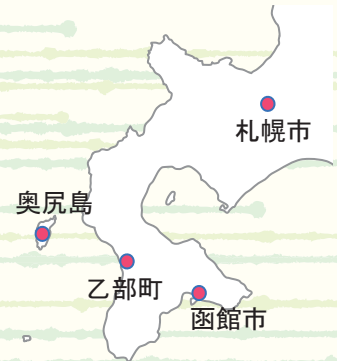
さらに、市で実施している「防災総合訓練」においては、警察・消防をはじめとする各関係機関と連携し、消火、救出等の訓練を行うなど、地域の安全・安心のために活動されております。

「地震に備える」 総務部 総務課係長 森真二(北海道爾志郡乙部町 出身)

それは突然やって来た。平成5年7月12日22時17分、北海道奥尻郡奥尻町北方沖の海底で地震が発生。当時、中学生だった私は、母に「急いで逃げるよ」と起こされ、寝ぼけていたせいなのか、何が起きたのかわからず、トイレに行き、今度は、祖母に「なにやってるの」と怒られながら、裏山に避難しました。夜なのに沖合は明るく、空には横長の雲が湧き上がり、犬はしっぽを丸め怯えていました。

何の備えもなく避難したため、津波が発生したことも知らず、被害がどれほどなのかわからない状態で、不安な夜を過ごしたのを今でも覚えています。一夜明け、地震の被災状況が徐々にわかるようになり、多くの人命が失われ家屋が焼失した奥尻島だけでなく、対岸の私の出身地の乙部町でも小規模の被害がありました。

天災は忘れた頃にやってくるということわざがありますが、今では、少しの揺れでも反応するようになり、家には避難用具を備えています。



災害対処訓練(ノーザン・レスキュー2015)の概要

目的	「ノーザン・レスキュー2015」を実施し、自治体、防災関係機関等と協力して日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震対処計画(案)の実効性を検証するとともに、方面隊の災害対処能力の向上を図る。		
時期	平成27年8月26日(水)～30日(日)	場所	北海道及び周辺海・空域
	(防災セミナー：平成27年8月28日)		(防災セミナー：釧路市生涯学習センター)
参加部隊等	自衛隊：北部方面隊を基幹とする陸上自衛隊、海上・航空自衛隊		
	米・豪軍：在日米陸軍、第3海兵機動展開部隊及び豪州軍		
	関係機関：北海道の自治体及び関係機関		
訓練実施要領	ア 指揮機関訓練及び実動訓練に区分し訓練を実施		
	イ 指揮機関訓練は、発災当初から人命救助段階までの行動を図上で実施		
	ウ 実動訓練は、自治体等と連携した即時救援活動、応急復旧・民生支援段階を実施		

防災セミナー ～災害から命を守る～

日時 平成27年8月28日(金) 1310～1630

場所 釧路市生涯学習センター(大ホール)
北海道釧路市幣舞町4番28号 TEL(0154)41-8181

交通案内 徒歩の場合 JR釧路駅から徒歩20分
バスの場合 釧路バス停留所「釧路三慈会病院」下車徒歩1分

基調講演 (1310～1445)

第1部

- 『日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する検討状況及び防災対策』
北海道大学教授 谷岡 勇市郎 氏
- 『東日本大震災における教訓及び東北地方復興を踏まえた防災対策』
南三陸町長 佐藤 仁 氏

パネルディスカッション (1500～1630)

第2部

- 前段** 『災害予防における自治体としての取組みはどうあるべきか』
- 後段** 『救援活動にあたる自衛隊や関係機関との連携はどうあるべきか』

パネリスト

- 谷岡 勇市郎 氏 北海道大学教授(地震観測研究分野・教授)
- 佐藤 仁 氏 南三陸町長(東日本大震災・被災町長)
- 志方 俊之 氏 帝京大学名誉教授(元東京都災害対策担当参与)
- 折木 良一 氏 富士通常任顧問(東日本大震災時の自衛隊統合幕僚長)
- 佐藤 嘉大 氏 北海道危機管理監(北海道の地震災害等の危機管理統括)

司会

- 葛城 奈海 氏 防衛省オピニオンリーダー(CS「日本文化チャンネル桜」キャスター)



北大教授
谷岡勇市郎 氏



南三陸町長
佐藤仁 氏



帝京大学名誉教授
志方俊之 氏



富士通常任顧問
折木良一 氏



防衛省オピニオンリーダー
葛城奈海 氏



北海道危機管理監
佐藤嘉大 氏

お問い合わせ

陸上自衛隊北部方面総監部監察官室
【担当 霍見・寺岡】
TEL(011)511-7116
内線(2484～2488)

陸上自衛隊北部方面隊、北海道 共催





平和を、仕事にする。

平成27年度 陸海空自衛官募集



防衛省・自衛隊
MINISTRY OF DEFENSE

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表	
航空学生	高卒(見込含)21歳未満の者	8月1日(土)～9月8日(火)	1次: 9月23日(水) 2次: 10月17日(土)～22日(木) 3次: 11月14日(土) ～12月17日(木)	1次: 10月9日(金) 2次: (海)11月11日(水) 2次: (空)11月6日(金) 最終: 28年1月25日(月)	
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者	8月1日(土)～9月8日(火)	1次: 9月18日(金)・19日(土) 2次: 10月8日(木)～14日(水)	1次: 10月2日(金) 最終: 11月13日(金)	
自衛官候補生	男子	18歳以上27歳未満の者	年間を通じ受付を行っています。詳しくは、最寄りの自衛隊協力本部にお問い合わせ下さい。		
	女子		8月1日(土)～9月8日(火)	9月25日(金)～29日(火)	11月6日(金)
防衛大学校	推薦	高卒(見込含)21歳未満で、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な成績を納め、学校長が推薦できる者	9月5日(土)～9月9日(水)	9月26日(土)・27日(日)	10月30日(金)
	総合抜	高卒(見込含)21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)	9月5日(土)～9月9日(水)	1次: 9月26日(土) 2次: 10月31日(土)・11月1日(日)	1次: 10月16日(金) 最終: 11月27日(金)
	一般(前期)		9月5日(土) ～9月30日(水)	1次: 11月7日(土)・8日(日) 2次: 12月8日(火)～12日(土)	1次: 11月27日(金) 最終: 28年1月19日(火)
防衛医科大学校医科学学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月5日(土) ～9月30日(水)	1次: 10月31日(土)・11月1日(日) 2次: 12月16日(水)～18日(金)	1次: 12月2日(水) 最終: 28年2月17日(水)	
防衛医科大学校看護学科学学生 (自衛官候補看護学生)			1次: 10月17日(土) 2次: 11月28日(土)・29日(日)	1次: 11月13日(金) 最終: 28年2月5日(金)	

◆他の種目や詳しい内容は最寄りの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部
011(631)5472



函館地方協力本部
0138(53)6241



旭川地方協力本部
0166(51)6060



帯広地方協力本部
0155(23)2485

◆募集コールセンター



自衛官募集

検索

自衛官募集携帯サイト



女性職員からの随想

～継続は力なり～

一昨年からホットヨガに通いだし、もうすぐ2年になります。

ホットヨガとは、室温39度前後、湿度60%前後に保たれた室内で行うヨガで、この室温は体を一番柔軟にするらしく、体が硬い人でも無理なくゆったりとしたヨガの動きやポーズをとることができます。

私がホットヨガを始めたきっかけは、ダイエットと冷え性解消のためでした。

始めてから半年くらいまではあまり効果が感じられませんでした。暖かい室内で自然に筋肉を伸ばしながら汗をかくことがとても心地よく、飽きっぽい性格の私でも無理なく続けていくことができました。すると、徐々に体幹が鍛えられ柔軟性がついてきて、ちょっと苦しかったポーズでも楽にできるようになってきました。そして、1年くらいたった頃には体重と体脂肪率が減り、気になっていた背中肉や腰回りがすっきりしてきました。これまでこんなに長く運動を続けたことがなかったので自分の体の変化にとっても驚いています。

最近では、少し難易度の高いポーズにも挑戦できるようになり、その達成感を楽しみながら「継続は力なり」を実感しています。

また、呼吸法とポーズさえ覚えればヨガは何処でもできるので、寝る前などに軽く行くと寝付きがよくなり、ちょっとストレスを感じるような時は、数分ヨガの呼吸を行うだけでリラックスできます。

このような効果があるため、男女問わず生活にヨガを取り入れることは健康面や精神面においてもとても良いことだと私は思います。特に女性は冷え性で悩んでいる方が多いので、暑さが苦手であればホットヨガから始めてみることをおすすめします。

私はこれからも無理なくヨガを続けていきたいと思っています。

防衛問題セミナーのご案内

北海道防衛局では、わが国の防衛に関する諸施策などについて、多くの方々に御理解を深めていただくことを目的に、防衛問題セミナーを開催します。
事前申込の必要はなく、**入場無料**でご参加いただけます。

第31回防衛問題セミナー

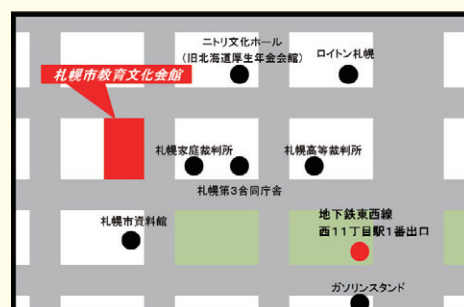
開催日 平成27年9月30日（水） 開場17：30 開演18：00

会場 札幌市教育文化会館 小ホール（定員約300名）

テーマ 我が国の安全保障環境への対応と
沖縄基地負担の軽減に向けて

講演者 防衛省地方協力局次長等（予定）

- ※ テーマ・講師は変更になる場合があります。
- ※ 会場には駐車場がございません。
ご来場は公共交通機関をご利用ください。



お問合せ先


北海道防衛局 企画部 地方調整課 地方協力確保室
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎 TEL 011-272-7571

詳細が決定次第、北海道防衛局ホームページに掲載します。
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/oshirase/boueiseminar/boueiseminar.htm>

平成27年度 国家公務員一般職試験（大卒程度） 防衛省官庁訪問のご案内



国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）1次試験合格者を対象とした防衛省官庁訪問を実施致します。
官庁訪問は今年度採用予定機関の「北海道防衛局」「陸上自衛隊」合同開催となります。
訪問につきましては、事前の受付申込が必要となりますのでご注意ください。

官庁訪問受付開始	申込方法	官庁訪問実施期間
<p>●受付開始</p> <p>平成27年8月18日（火） 14：00～</p>	<p>●「防衛省ホームページ採用情報」よりお申し込み下さい。 http://www.mod.go.jp/j/saiyou/index.html ※携帯電話からの申込はこちらが便利です</p>  <p>ホームページ上の登録フォームに必要事項を入力し送信して予約完了となります。</p>	<p>●実施期間</p> <p>平成27年8月20日（木） ～ 平成27年8月24日（月）</p>